

モータースポーツ速報



抜きつ抜かれつの大熱戦を演じたロッシとベロソ



モータースポーツ速報 iモード

モータースポーツ速報 iモード

モータースポーツ速報 iモード

モータースポーツ速報 iモード

モータースポーツ速報 iモード

モータースポーツ速報 iモード

モータースポーツ速報 iモード

モータースポーツ速報 iモード

順位 ライダー (国籍) 勝利数

1	M・ドゥーハン (AUS)	54 (54)
2	D・ベドロサ (ESP)	49 (26)
3	J・レドマン (RHO)	45 (2)
4	M・ヘイルウッド (GBR)	41 (8)
5	V・ロッシ (ITA)	33 (33)
6	F・スパンサー (USA)	27 (20)
7	L・タペリ (SUI)	26 (0)
8	M・マルケス (ESP)	22 (22)
9	L・カピロッシ (ITA)	19 (1)
10	W・ガードナー (AUS)	18 (18)
11	L・カダローラ (ITA)	17 (2)
12	加藤大治郎 (JPN)	17 (0)
13	R・ワルドマン (GER)	17 (0)
14	C・ストーナー (AUS)	15 (15)
15	A・クリビーレ (ESP)	15 (15)
16	S・ポンス (ESP)	14 (0)
17	D・ラウデス (GER)	14 (0)
18	M・メランドリ (ITA)	12 (5)
19	A・マン (GER)	12 (0)
20	上田 昇 (JPN)	12 (0)

優勝ライダー 計80人 700 (266)

大治郎ら80人の積み重ね

大治郎ら80人の積み重ね

大治郎ら80人の積み重ね

大治郎ら80人の積み重ね

大治郎ら80人の積み重ね

大治郎ら80人の積み重ね

大治郎ら80人の積み重ね

ホンダ700勝



区切りの700勝を達成して喜ぶレブソル・ホンダのスタッフ

追撃態勢万端

追撃態勢万端

追撃態勢万端

追撃態勢万端

WGP第10戦 インドネシアGP 決勝結果

順位	ライダー	国籍	タイム(差)	G
1	M・マルケス	ESP	41:55.371	1
2	J・ロレンソ	ESP	0.686	2
3	V・ロッシ	ITA	5.966	3
4	D・ベドロサ	ESP	6.147	2
5	A・イブノネ	ITA	21.528	7
6	B・スミス	GBR	21.751	6
7	P・エスバルガロ	ESP	30.378	11
8	C・クラッチロー	GBR	31.607	4
9	A・ドビツィオーソ	ITA	32.821	10
10	D・ベトルッチ	ITA	34.517	5

モト2 25周 路面W&D (完走19台 出走28台)

順位	ライダー	国籍	マシン	タイム(差)	G
1	A・リンス	ESP	カレックス	41:18.866	1
2	J・ザルコ	FRA	カレックス	0.482	8
3	F・モルビデッリ	ITA	カレックス	0.888	9
4	D・エガーター	SUI	カレックス	1.719	11
5	T・ラバット	ESP	カレックス	2.963	2
9	中上 貴晶	JPN	カレックス	9.316	6

モト3 23周 路面W&D (完走32台 出走34台)

順位	ライダー	国籍	マシン	タイム(差)	G
1	L・ロ	BEL	ホンダ	40:50.747	26
2	J・マクフィー	GBR	ホンダ	38.860	18
3	P・エッテル	GER	KTM	57.781	34
4	R・フィナーティ	ITA	KTM	1:15.296	11
5	I・フィナーレ	ESP	KTM	1:19.814	20
21	D・ケント	GBR	ホンダ	1周遅れ	1
23	鈴木 竜生	JPN	マヒンドラ	27	
26	尾野 弘樹	JPN	ホンダ	14	

モトGP 27周 路面D (完走22台 出走23台)

順位	ライダー	国籍	タイム(差)	G
1	M・マルケス	ESP	41:55.371	1
2	J・ロレンソ	ESP	0.686	2
3	V・ロッシ	ITA	5.966	3
4	D・ベドロサ	ESP	6.147	2
5	A・イブノネ	ITA	21.528	7
6	B・スミス	GBR	21.751	6
7	P・エスバルガロ	ESP	30.378	11
8	C・クラッチロー	GBR	31.607	4
9	A・ドビツィオーソ	ITA	32.821	10
10	D・ベトルッチ	ITA	34.517	5

追撃態勢万端

追撃態勢万端

追撃態勢万端

追撃態勢万端

追撃態勢万端

モータースポーツ速報



モータースポーツ速報 iモード アクセス 1 モーターズポーツ速報 iモード アクセス 1 モーターズポーツ速報 iモード アクセス 1

息子名乗る2人 骨肉の争い



DNA鑑定
訴えを起したのはアルゼンチンに住むオスカル・エスピノザさん(77)と、ルベン・パスケさん(73)。
エスピノザさんはファンジョのパートナーだったアンドレア・ベルエッティさんの息子で、「カチョ・ファンジョ」と名乗ってF3に出場したこともある。息子だと正式に主張したのは2013年。ファンジョが、母ベルエッティさんに息子の世話をしようとした手紙を証拠として提出したという。一方のパスケさんは、2012年に103歳で死去した母親が生前に、ファンジョが父親だとする公正証書に署名したと主張。「財産について興味はない。単にファンジョの姓を認めてもらいたいだけだ」と話している。

F1 5度の王者



91年、80歳の誕生日を祝われて喜んだファンジョ(AP)
57年のドイツGPで5度目のチャンピオンを決めた(EPA・時事)



フォーミュラE 合同テスト 第1日
(8月10日/ドニントンパーク/1周・4.003km/路面W&D)
順位 ドライバー チーム タイム 周
1 S・ブ エ ミ eダムス・ルノー 1:32.095 26
2 L・ディグラッシー アウティ・アプト 32.158 17
3 N・プロスト eダムス・ルノー 32.286 26
4 S・バー ド ヴァーゲン 32.523 12
5 S・デュラン ア グ リ 32.549 34
14 J・ビルヌーブ ヴェンチュリー 38.176 17

シーズン前テスト
14台参加し始まる
英ドニントンパーク
電動フォーミュラE
で争う「フォーミュラE」のシーズン前テストが10日、英国ドニントンパークで14台が参加して始まった。
午後以降雨が降り、ぬれた路面が乾いていく難しいコンディションになったが、1日差で初代王者を逃したセバスチャン

新井まさかのクラッシュ
○…まさに好手魔多し。
レグ1を日本人トップの4位でスタートした新井が、レグ2ではまさかのクラッシュを喫した。前を走る車両を抜くためバックした瞬間、その車両がコントロールを失い木に激突し避けることができず追突した。



新井まさかのクラッシュ
○…まさに好手魔多し。
レグ1を日本人トップの4位でスタートした新井が、レグ2ではまさかのクラッシュを喫した。前を走る車両を抜くためバックした瞬間、その車両がコントロールを失い木に激突し避けることができず追突した。

悪路でキラリ!! 篠塚5位浮上

日本人トップ
レグ2は大荒れ。アジカンらしい悪路のオンパレードで、あちらこちらでクラッシュやコースアウトが多発した。元世界王者の新井も前車のクラッシュに巻き込まれて車両前部を大破すれば、その後には青木拓磨も追突する波乱の連続。が、大ベテランの篠塚はベースを保って順位を上



◆アジアカロスカントリーラリー-4輪部門◆
(8月10日/レグ2:497km/SS=132km)

順位	ドライバー	マシン	タイム(差)
1	N・アングリット	いすゞD-MAX	4時間01分15秒
2	W・チョティラビー	いすゞD-MAX	8分37秒
3	O・サンシリ	いすゞD-MAX	15分52秒
4	C・オンスリ	三菱トロン	16分32秒
5	篠塚建次郎	スズキ・ジムニー	20分08秒
6	塚 郁夫	トヨタFJクルーザー	20分51秒
7	浅井 道浩	いすゞD-MAX	20分59秒
10	青木 拓磨	いすゞMu-X	24分25秒
21	新井 敏弘	いすゞD-MAX	11時間30分28秒
25	青木 孝次	三菱アウトランダー	11時間41分42秒

悪路を軽快に走行する篠塚のスズキ・ジムニー【切り込み】日本人最上位に浮上した篠塚が誇らしげにサムアップ

アクシデント続き
午前様のゴール
○…ブラグイン・ハイブリッド車の三菱「アウトランダーPHEV」で挑戦する青木



孝次組ながら、2日連続でアクシデントに遭遇した。レグ1で苦しい制御系トータルは解決したが、レグ2では滑りやすい下り坂で車両が予想外の挙動となってコースアウト、フロントガラスに木が当

コースアウトも
逆転総合V可能
○…念願の総合優勝を狙う青木拓磨だが、2日目ではまずまずのスタートでコースアウトして時間を取られてしまったとがっかり。初日の総合5位から10位までポジションを落とした。が、トップとの差は24分ほど。悪路続きのアジカンなら十分に逆転できる範囲だ。例年位かされる車両トラブルもなく、9年連続挑戦の意地をみせ、終盤に向けて順位を上げるつもりだ。

メルセデス

PU契約間近 車体パーツも提供へ

マノー大改造



モータースポーツ速報 iモード

【リスボン＝ルイ・スポンサー】メルセデスが弱小マノーF1チームを大改造する見通しとなった。同チームと来季のパートナーシップ(PU)供給契約が合意間近で、このほか車体パーツの提供を含めた技術提携も結ぶという。実質的な「子分」格のチームに据えることを想定しており、その場合はメルセデスのリザーブドライバー、バスカル・ペーリライン(2014年ドイツGP)をレギュラー選手として送り込むも構わない。

代わりに風洞実験させ
来季型車両開発に活用

メルセデスが弱小チームの「子分」格に据えるという。実質的な「子分」格のチームに据えることを想定しており、その場合はメルセデスのリザーブドライバー、バスカル・ペーリライン(2014年ドイツGP)をレギュラー選手として送り込むも構わない。

メルセデスが弱小チームの「子分」格に据えるという。実質的な「子分」格のチームに据えることを想定しており、その場合はメルセデスのリザーブドライバー、バスカル・ペーリライン(2014年ドイツGP)をレギュラー選手として送り込むも構わない。

メルセデス傘下の強力チームになり
そうなるマノー (AFP・時事)

メルセデスが弱小チームの「子分」格に据えるという。実質的な「子分」格のチームに据えることを想定しており、その場合はメルセデスのリザーブドライバー、バスカル・ペーリライン(2014年ドイツGP)をレギュラー選手として送り込むも構わない。

ドライバーにペールライン

メルセデス傘下の強力チームになりそうなるマノー (AFP・時事)

メルセデス傘下の強力チームになりそうなるマノー (AFP・時事)

日本人「水難の日」川渡りでエンジンストップも…助けられた

友情に感謝
2位死守

トラブル発生で遅れたものの総合2位の座を死守。逆転を誓うタサン。川渡り失敗、総合3位に後退した池町



2輪 池町も50分のロス「不公平だ」総合3位に

2輪でも前日首位に立った池町が、同じ川渡りに失敗。何とか脱出には成功したが、エンジン内に水が入ってしまった。S中に整備作業を強いられた。自分を含めたトップ2-3台だけが川を渡り、後ろからきたマシンは地元の人々の案内で迂回(うかい)路を走らなければならなかった。結局50分のロスとなった。結局50分のロスとなった。結局50分のロスとなった。

第20回アジアクロス・カントリーラリー・4輪部門(8月12日、レグ4:512km、SS=243.74km)

順位	ドライバー	マシン	タイム(差)
1	N・アグニティ・ハノン	いすゞD-MAX	11時間26分40秒
2	タサン 建次郎	スズキ・ジムニー	11時間02分05秒
3	S・スリヂ・ディン	トヨタ・ヴィーゴ	2時間23分00秒
4	B・アスター・マタル	フォード・レンジャー	2時間33分28秒
5	R・トラッド	いすゞD-MAX	2時間37分15秒
6	伊藤 芳朗	いすゞD-MAX	2時間53分50秒
7	堀 郁夫	トヨタFJクルーザー	4時間39分24秒
8	野 悟	スズキ・ジムニー	9時間18分28秒
9	浅 道	いすゞD-MAX	9時間25分34秒
10	青 拓	いすゞMux	9時間29分00秒
11	青 泰	スズキ・エスクード	9時間31分20秒
12	西 文	スズキ・ジムニー	24時間15分50秒
13	青 孝	三菱アウトランダー	25時間05分13秒
14	飯 島	いすゞD-MAX	26時間10分56秒
15	新 井	いすゞD-MAX	40時間50分03秒

※出走28台

第20回アジアクロス・カントリーラリー・4輪部門(8月12日、レグ4:512km、SS=243.74km)

順位	ドライバー	マシン	タイム(差)
1	N・アグニティ・ハノン	いすゞD-MAX	11時間26分40秒
2	タサン 建次郎	スズキ・ジムニー	11時間02分05秒
3	S・スリヂ・ディン	トヨタ・ヴィーゴ	2時間23分00秒
4	B・アスター・マタル	フォード・レンジャー	2時間33分28秒
5	R・トラッド	いすゞD-MAX	2時間37分15秒
6	伊藤 芳朗	いすゞD-MAX	2時間53分50秒
7	堀 郁夫	トヨタFJクルーザー	4時間39分24秒
8	野 悟	スズキ・ジムニー	9時間18分28秒
9	浅 道	いすゞD-MAX	9時間25分34秒
10	青 拓	いすゞMux	9時間29分00秒
11	青 泰	スズキ・エスクード	9時間31分20秒
12	西 文	スズキ・ジムニー	24時間15分50秒
13	青 孝	三菱アウトランダー	25時間05分13秒
14	飯 島	いすゞD-MAX	26時間10分56秒
15	新 井	いすゞD-MAX	40時間50分03秒

※出走28台

第20回アジアクロス・カントリーラリー・4輪部門(8月12日、レグ4:512km、SS=243.74km)

順位	ドライバー	マシン	タイム(差)
1	N・アグニティ・ハノン	いすゞD-MAX	11時間26分40秒
2	タサン 建次郎	スズキ・ジムニー	11時間02分05秒
3	S・スリヂ・ディン	トヨタ・ヴィーゴ	2時間23分00秒
4	B・アスター・マタル	フォード・レンジャー	2時間33分28秒
5	R・トラッド	いすゞD-MAX	2時間37分15秒
6	伊藤 芳朗	いすゞD-MAX	2時間53分50秒
7	堀 郁夫	トヨタFJクルーザー	4時間39分24秒
8	野 悟	スズキ・ジムニー	9時間18分28秒
9	浅 道	いすゞD-MAX	9時間25分34秒
10	青 拓	いすゞMux	9時間29分00秒
11	青 泰	スズキ・エスクード	9時間31分20秒
12	西 文	スズキ・ジムニー	24時間15分50秒
13	青 孝	三菱アウトランダー	25時間05分13秒
14	飯 島	いすゞD-MAX	26時間10分56秒
15	新 井	いすゞD-MAX	40時間50分03秒

※出走28台



タサンのラリーカー

TEAM-T式号機が初優勝

軽自動車でも争うK4-GPは13日、静岡県・富士スピードウェイで127台が参加してメインの「1000km」を行い、スーパーGTのGT300クラスに出場している高橋一穂・加藤寛規組を中心に組んだ「TEAM-T式号機」=写真、竹内英士撮影=が224周を走って初優勝した。

K4-GP 1000km

ライバルがスピンやコースアウトを喫し、堅実に走り切った結果を強調した。この勢いを苦戦するSGTにも持ち込みたい。2週間後には第5戦(30日決勝、三重県・鈴鹿サーキット)が控える。「鈴鹿はマシンが得意とするコース。勝ちたいですね」と加藤。レースの規模やカテゴリーは違えど、富士、鈴鹿の両1000kmを制覇する意気込みだ。(碓氷英靖)

弁天娘笑顔の完走

の関東工業自動車大学の女子学生4人がドライバーを務めた「女子レース部弁天娘」はダイハツ・オプティで参戦。同クラブ活動の一環でメカニックも女性、今年が7年目の挑戦だった。ドライバーでリーダーを務めた阿部史歩(4年)さんは「このレースが部活最大のイベント。トラブルなく走り切りました。スローペースながらも完走を果たして笑顔を見せた。」



モーターエクスプレス



モータースポーツ速報 iモード アクセスマニュアル モータースポーツ トレーニング F1 eXp Yahoo!ケータイ アクセスマニュアル モータースポーツ トレーニング F1 eXp ENWeb アクセスマニュアル トップメニュー カテゴリで探す iモード アクセスマニュアル モータースポーツ トレーニング F1 eXp

電動フォーミュラカー 六本木 駆けける

23日日本公道初走行



ロンドン大会を走行する山本左近のマシン (フォーミュラE提供)

電動フォーミュラカーシリーズ「フォーミュラE」のマシンが23日に日本の公道を初走行することになった。東京の六本木や芝浦通りでデモ走行が披露される。六本木ヒルズのホームページで発表された。ステアリングを握るのは6月月末の最終戦ロンドン大会に出場した元F1ドライバーの山本左近(33)写真。六本木ヒルズ盆踊り2015(21・23日)の特別プログラムとして実施される。

注目のイベントだ。10月から始まるシーズン2を前に日本で初めてF1Eの電動フォーミュラカーが公道を走る。六本木ヒルズのホームページでも「未来へ向けた新しいテクノロジー」として新しいモータースポーツの息吹を、六本木ヒルズから発信します。23日午後2時40分から全長390mの芝浦通りでデモ走行が披露される。ステアリングを握るのは6月末の最終戦ロンドン大会でアムリン・アグリ(現チームアグリ)の一員としてシリーズデビューを果たした山本左近だ。

ただし、「デモ走行(徐行)」の注釈も。道幅が16mと狭く、安全面にも配慮してゆっくりと走行する。当日はチームアグリ代表の鈴木重久会長、シリーズ運営会社のアレハンドロ・アギア最高経営責任者らも駆けつける予定だ。

F1などエンジン搭載するレーシングカーはエキゾーストノットと呼ばれる高い排気音が特徴だが、F1Eの場合は電動モーターを採用しているため静か。騒音が出ず、環境にも優しいというメリットがあり、世界各地の市街地コースを使ってシリーズが開催されている。シーズン2は全11戦で10月17日に北京で開幕。日本戦は盛り込まれなかった。ただし自民党が公道レースの円滑開催を目的とする「モータースポーツ振興基本法案」を国会に提出。可決すれば将来の開催の期待が高まる。デモ走行で追い風が吹く(鶴田真也)

「フォーミュラE」のマシンが23日に日本の公道を初走行することになった。東京の六本木や芝浦通りでデモ走行が披露される。六本木ヒルズのホームページで発表された。ステアリングを握るのは6月月末の最終戦ロンドン大会に出場した元F1ドライバーの山本左近(33)写真。六本木ヒルズ盆踊り2015(21・23日)の特別プログラムとして実施される。

電動フォーミュラカーシリーズ「フォーミュラE」のマシンが23日に日本の公道を初走行することになった。東京の六本木や芝浦通りでデモ走行が披露される。六本木ヒルズのホームページで発表された。ステアリングを握るのは6月月末の最終戦ロンドン大会に出場した元F1ドライバーの山本左近(33)写真。六本木ヒルズ盆踊り2015(21・23日)の特別プログラムとして実施される。



みごと2位フィニッシュを果たした篠塚組

篠塚組 笑顔の総合2位

第20回アジアクロス・カントリーラリー・アムリン2015
グ6 14日 プレリ
チェンマイ(タイ)
ベン&カメラ古賀
敬介

4輪クラスは初出場の篠塚組(スズキ・ジムニー)が総合2位に食い込んだ。最後は押しがけでエンジンを始動するという状況に陥ったが、慌てず騒がず、3年ぶりの実戦を楽しくむかへた。優勝は地元タイのヌタボ・アングリット・ハノン組(いすゞD-MAX X)。2輪クラスは池町佳生(ガスガス)が初優勝した。

アジアカロスカントリーラリー暫定結果

(8月9-14日)

4輪部門			
順位	ドライバー	マシン	タイム(差)
1	N・アングリット・ハノン	いすゞD-MAX	13時間56分22秒
2	篠塚建次郎	スズキ・ジムニー	1時間18分31秒
3	R・トラッド	いすゞD-MAX	2時間46分00秒
4	伊藤芳朗	いすゞD-MAX	3時間30分35秒
5	B・ブスター・ヌタボ	フォード・レンジャー	3時間57分54秒
6	堀 夫	トヨタFJクルーザー	4時間47分34秒
7	野 悟	スズキ・ジムニー	9時間37分01秒
8	浅 井	いすゞD-MAX	10時間02分49秒
9	青 野	スズキ・エスクード	10時間24分47秒
10	青 野	いすゞD-MAX	10時間50分37秒
11	西 村	スズキ・ジムニー	25時間48分30秒
12	飯 島	三菱アウトランダー	26時間05分29秒
13	飯 島	いすゞD-MAX	27時間06分27秒
14	新 井	いすゞD-MAX	46時間39分34秒



2輪クラス初優勝を果たした池町

池町トップ奪還
○…レグ4で首位から陥落した2輪クラスの池町佳生だが、レグ5で首位の座を奪い返した。勝負がなかったがレグ5では「深い川があって、思わず前日(レグ4)のことがフラッシュバック。バイクから降りて押し渡りました」という安全策が生きた。ダカールラリーで1990年代半ばから2、4輪で活躍した実績は伊達ではない。前身のアジア選手権(97~07年)の参戦経験は豊富ながら、2012年から2輪クラスが新設されたアジアカロスでは初優勝達成だ。

打倒ホンダ、今年こそ!!



◆WGP第11戦チェコGP フリー走行1回目◆
(8月14日/ブルノ/1周5.403km 路面D)

モトGP				
順位	ライダー	国籍	チーム/M	タイム
1	J・ロレンソ	ESP	ヤマハ/Y	1:56.499
2	M・マルケス	ESP	ホンダ/H	56.650
3	D・ペドロサ	ESP	ホンダ/H	56.784
4	A・ドビツィオーソ	ITA	ドゥカティ/D	56.821
5	A・イアンノーネ	ITA	ドゥカティ/D	56.914
6	V・ロッシ	ITA	ヤマハ/Y	57.038
7	B・スミス	GBR	テック3/Y	57.137
8	A・エスバルガロ	ESP	スズキ/S	57.597
9	21 M・ニール	ESP	スズキ/S	57.753
10	C・クラッチロー	GBR	L C R/H	57.781

【注】M(マシン): D=ドゥカティ、H=ホンダ、S=スズキ、Y=ヤマハ。国籍: ESP=スペイン、GBR=英国、ITA=イタリア。タイヤはブリヂストン

モト2				
順位	ライダー	国籍	マシン	タイム
1	J・ザルコ	FRA	カレックス	2:03.082
2	J・フォルガー	GER	カレックス	03.420
3	S・コルシ	ITA	カレックス	03.423
4	T・ラバット	ESP	カレックス	03.543
5	T・ルティ	SUI	カレックス	03.569
11	30 中上貴晶	JPN	カレックス	03.935

【注】エンジンはホンダ、タイヤはダンロップ。国籍: FRA=フランス、GER=ドイツ、SUI=スイス

モト3				
順位	ライダー	国籍	マシン	タイム
1	E・バスケス	ESP	ホンダ	2:08.700
2	D・ケネ	GBR	ホンダ	08.852
3	R・フェナティ	ITA	K T M	08.908
4	M・オリベイラ	POR	K T M	08.948
5	B・ピンダー	RSA	K T M	08.988
21	76 尾野弘樹	JPN	ホンダ	10.387
36	24 鈴木竜生	JPN	マヒンドラ	15.248

【注】タイヤはダンロップ。国籍: POR=ポルトガル、RSA=南アフリカ

首位 発展

ブルノ得意…4年ぶり奪首、だ

僕の状態はいいし、いいレースができると思う」ときっぱり。当地では2004年(125cc)、06、07年(250cc)、そしてモトGPの10年に優勝。その後、ケーシー・ストーナー(11年)、ベドロサ(12年)、マルケス(13年)、ベドロサ(14年)とホンダ勢にやられていたが、常にヤマハ勢のトップでフィニッシュ。当然ロッシの前でチェッカーを受けており、それだけにさらに差を詰めるか、逆転の可能性も視野に入っている。

「米国から欧州に戻ってきてさすがに疲れた。でも、ブルノ入りし、たつぷり14時間は寝た。時差ほけも解消した」とすっかりした表情のロッシ。パレンティノは時差ほけが残っているってさ。最後までそのままだいてくれればね。ジョーコも絶好調だ。

マルケス2番手
○…2連勝中のマルケスはフリー1回目2番手と上々のスタート。昨年のブルノは史上初の開幕11連勝がかかっていたが、4位に終わって地団駄を踏んだ。「確かにブルノはあまり得意じゃないけど、今年はレースごとにマシンに調子が良くなっているし、何よりモチベーションが高い。とにかく

モト2はザルコ
1回目のトップ
○…モト2はザルコ首位のヨハン・ザルコ(カレックス)がフリー1回目のトップ。「ブルノはこれまで優勝した経験はないが、125cc時代に表彰台に立ったし大好きなサーキット。隣のハンガリーには家族も住んでいるからいいレースを見せたいね」と今季4勝目に気合満点。前戦インディアナポリスGPで9位の中上貴晶(カレックス)はザルコから0.853秒差の11番手とまずまずのスタートだった。

初Vに闘志満々
○…ブルノ得意のダニ・ペドロサ(ホンダ)はセットアップを進めながらフリー1回目3番手。昨年は優勝しているし、今年はそのレースを再現したいね。調子は良くなっているし、楽しみだ」と今季初優勝に闘志満々。今年は右腕手術のため、すでに4戦を欠場しランク首位とは100秒以上の差がついているが、たとえ1勝でも、と巻き返しに燃えている。

優勝を狙っていくよ」と、がむしやに今季4勝目を狙う構えだ。時差ボケひでえ
ロッシ
○…もったランク首位ながら、追い上げに遭っているロッシはフリー1回目6番手で「明日までには何とかしなくては時差ボケがひどい」と強い表情。「ブルノは125ccで初優勝(1996年)した場所だが、ここはホルヘとダニ、マルクも速いから厳しいよ」と弱気だが、そう言っただけでいいから、ととにかくしっかりとセットアップを進めたい」と、2009年以来6年ぶりの勝利で、突き放しを図るつもりだ。

今日eTV
◆「モトGP第11戦チェコGP予選」(G十午後7時30分~11時30分)
レイアウト☆今村 睦



モータースポーツ速報 iモード アクセス手順 モータースポーツ・チューフ1exD Yahoo!ケータイ アクセス手順 モータースポーツ・チューフ1exD ENJOY アクセス手順 スポーツその他・チューフ1exD

電動フォーミュラカー 六本木 駆けける

23日日本公道初走行

電動フォーミュラカーシリーズ「フォーミュラE」のマシンが23日に日本の公道を初走行することになった。東京の六本木けやき坂通りで、デモ走行が披露される。14日、イベント事務局から発表された。ステアリングを握るのは6月末の最終戦ロンドン大会に出場した元F1ドライバーの山本左近(33)写真。「六本木ヒルズ盆踊り2015」(21・23日)の特別プログラムとして実施される。



ロンドン大会を走行する山本左近のマシン (フォーミュラE提供)

六本木ヒルズのホームページでも「未来へ向けた新しいテクノロジー」そして新しいモータースポーツの息吹を、六本木ヒルズから発信します。23日午後2時40分から全長390mのけやき坂通りでデモ走行が披露される。ステアリングを握るのは6月末の最終戦ロンドン大会でアムリン・アグリ(現チームアグリ)の一員としてシリーズデビューを果たした山本左近だ。

「未来へ向けた新しいテクノロジー」そして新しいモータースポーツの息吹を、六本木ヒルズから発信します。23日午後2時40分から全長390mのけやき坂通りでデモ走行が披露される。ステアリングを握るのは6月末の最終戦ロンドン大会でアムリン・アグリ(現チームアグリ)の一員としてシリーズデビューを果たした山本左近だ。

注目のイベントだ。10月から始まるシーズン2を前に日本で初めてF1Eの電動フォーミュラカーが公道を走る。

打倒ホンダ!! 今年こそ!!



モト2					出走31台
順位	番号	ライダー	国籍	マシン	タイム
1	1	T・ラバット	ESP	カレックス	2:02.714
2	12	T・ル テ イ	SUI	カレックス	02.811
3	3	S・コ ル シ	ITA	カレックス	02.881
4	5	J・ザ ル	FRA	カレックス	02.974
5	11	S・コルターゼ	GER	カレックス	03.033
11	30	中上 貴 晶	JPN	カレックス	03.675

【注】エンジンはホンダ、タイヤはダンロップ。国籍:FRA=フランス、GER=ドイツ、SUI=スイス。

モト3					出走36台
順位	番号	ライダー	国籍	マシン	タイム
1	52	D・ケンタ	GBR	ホンダ	2:08.483
2	41	B・ピント	RSA	K T M	08.650
3	23	N・アントネリ	ITA	ホンダ	08.664
4	7	E・バスケス	ESP	ホンダ	08.700
5	5	R・フェナティ	ITA	K T M	08.908
12	76	尾野 弘 樹	JPN	ホンダ	09.544
15	24	鈴木 竜 生	JPN	マヒンドラ	09.680

【注】タイヤはダンロップ。国籍:RSA=南アフリカ。

首位 発進

2週連続開催となったチェコ戦は前戦の好調さをキープしているヤマハのホルヘ・ロレンソが28日スペインでフリー初日総合トップを、僚友でランク首位のバレンティノ・ロッシは過去4年こそホンダ勢の後塵を拝してきたが、「バイクは変わるし、アを9秒差とライターの調子も変わるもの。実は追いついておこの何年かは僕も悪くないんだよ」と自信をちやうり、今大会である。一方、もった2連勝中と尻上りに調子を上げているホンダのマルク・マルケス22日スペインで総合2番手とともに打倒ロッシの勢いだ。

14時間寝てスッキリ
今季4勝と上々の結果を残してきたロレンソが得意とするブルノで密かに「尊厳」を狙っている。当地では過去4年こそホンダ勢の後塵を拝してきたが、「バイクは変わるし、アを9秒差とライターの調子も変わるもの。実は追いついておこの何年かは僕も悪くないんだよ」と自信をちやうり、今大会である。一方、もった2連勝中と尻上りに調子を上げているホンダのマルク・マルケス22日スペインで総合2番手とともに打倒ロッシの勢いだ。

今季4勝と上々の結果を残してきたロレンソが得意とするブルノで密かに「尊厳」を狙っている。当地では過去4年こそホンダ勢の後塵を拝してきたが、「バイクは変わるし、アを9秒差とライターの調子も変わるもの。実は追いついておこの何年かは僕も悪くないんだよ」と自信をちやうり、今大会である。一方、もった2連勝中と尻上りに調子を上げているホンダのマルク・マルケス22日スペインで総合2番手とともに打倒ロッシの勢いだ。

マルケス2番手
2連勝中のマルケスは初日総合2番手と上々のスタート。昨年のブルノは史上初の開幕1連勝がかかっていたが、4位に終わって地団駄を踏んだ。確かにブルノはあまり得意じゃないけど今年はレースごとにマシンの調子が良くなっているし、何よりモチベーションが高い。とにかく優勝を狙っていくよと、がむ

しやうに今季4勝目を狙う構えだ。時差ボケひでえ:
ロッシ6番手
ロッシは初日総合6番手。「明日までには何とかしたいけど時差ボケがひどい」と淡い表情。「ブルノは125ccで初優勝(1996年)した場所だが、ここはホルヘとタニ、マルクも速いから厳しいよ」と弱気。が、そう言っただけでもいられない。2009年以来6年ぶりの勝利で、突き放しを図るつもりだ。



自在に馬を操るジーナ・シューマッハーさん。跳馬を乗りこなす力はやはり父親の血のおかげ? (AP)

シュー娘、馬術で光るセンス

ドイツのアーヘンで開催されている馬術の欧州選手権で14日、F1元王者のミハエル・シューマッハーさんの長女・ジーナさんが試技騎手として登場、高度な演技を笑顔で堂々と披露した。シューマッハーさんはF1通算91勝、7度の王座に輝いた。2013年12月にスキー事故で頭部を負傷し、現在治療が続いている。顔つきは父親似のジーナさんだが、乗馬の才能は母親譲りだという。(ケルン共同)

篠塚組 初挑戦で総合2位

第20回アジアクロスカントリーラリー(A) XCR)2015年6月14日 プレーチンマイ(タイ) ペン&カメラ「古賀 敬介」

4輪クラスは初出場の篠塚建次郎組(スズキ・ジムニー)が総合2位に食い込んだ。最後は押しがけでエンジンを始動するという状況に陥ったが慌てず騒がず。3年ぶりの実戦を楽しみ、ゴールした。優勝は地元タイのヌタポン・アングリット・ハノン組(いすゞD-MAX)が初優勝した。

◆アジアクロスカントリーラリー-暫定結果◆ (8月9-14日)

4輪部門					タイム(差)
順位	ドライバー	マシン	国籍	タイム	
1	N・アングリット・ハノン	いすゞD-MAX	THA	13時間56分22秒	
2	篠塚建次郎	スズキ・ジムニー	JPN	1時間18分31秒	
3	R・トライラッド	いすゞD-MAX	THA	2時間46分00秒	
4	伊藤 芳 朗	いすゞD-MAX	THA	3時間30分35秒	
5	B・アングリット・ハノン	フォード・レンジャー	THA	3時間57分54秒	
8	浅井 道 浩	トヨタJクルーザー	THA	4時間47分34秒	
13	竹 野 悟 史	スズキ・ジムニー	THA	9時間37分01秒	
14	浅井 道 浩	いすゞD-MAX	THA	10時間02分49秒	
15	青野 泰 久	スズキ・エスクード	THA	10時間24分47秒	
17	青野 泰 久	いすゞMu-X	THA	19時間36分42秒	
19	西村 木 孝 次	スズキ・ジムニー	THA	25時間48分30秒	
20	青野 泰 久	三菱アウトランダー	THA	26時間05分29秒	
21	飯 島 祐 一	いすゞD-MAX	THA	27時間06分27秒	
25	新 井 敏 弘	いすゞD-MAX	THA	46時間39分34秒	

※完走27台



2輪部門					タイム(差)
順位	ドライバー	マシン	国籍	タイム	
1	池 町 佳 生	ガスガス	ESP	16時間54分52秒	
2	R・ミュンゲル	K T M	GER	5分23秒	
3	M・オストベルグ	ハスクバーナ	SWE	6分13秒	

※完走36台

クから降りて押しで渡りました」という安全策が生きた。ダカールラリーで1990年代半ばから2、4輪で活躍した実績は伊達ではない。前身のアジア選手権(97~07年)の参戦経験は豊富ながら、2012年から2輪クラスが新設されたアジカンで初優勝達成だ。

2輪 池町トップ奪還

○…レグ4で首位から陥落した2輪クラスの池町佳生だが、レグ5で首位の座を奪い返してゴール。勝負がかったレグ5では「深い川があったと思う前日(レグ4)のことがフラッシュバック。パイ

トラブル続きも善戦

チェンマイのゴールに総合2位で戻ってきた篠塚は満面の笑み。上機嫌でジムニーとともに表彰台に上った。「いや、楽しかった。想像していたよりレベルの高いラリーだったね。コースは難しいし、ナビゲーションも。最終日もミスコースしてヒヤッとしたよ」。

満足をうたう笑みとは対照的に、6日間の戦いは簡単ではなかった。レグ3(11日)では道に迷い、ナビゲーターのEJ千葉と険悪な雰囲気にもなった。また、レグ5

サポーター部隊なし
こつこつ総合4位
伊藤・平賀組
○…伊藤芳朗/平賀健組(いすゞD-MAX)は4輪部門で唯一サポーター部隊を持たず、ドライバーとナビゲーター2人で車両のメンテナンスを行う体制で挑んだ。初日から無理せずこつこつと積み重ねた結果は総合4位。あっぱれた。レグ5では止まった車両がコースをふさぎ、競技区間がキャンセルされたが、伊藤組は迂回(うかい)路を自らつくる大奮闘。ベスと呼ぶにふさわしい快挙だ。

今日のTV

◆「モトGP第11戦 チェコGP予選」(G十午後7時30分~11時30分)

モータースポーツ速報



モータースポーツ速報 iモード アクア携帯 iモードスマートフォン モータースポーツ・トータスウェブ

Yahoo!ケータイ Yahoo!メール Yahoo!ニュース Yahoo!スポーツ Yahoo!モータースポーツ Yahoo!ウェブ

ENJOY! アクア携帯 iモード アクア携帯 iモードスマートフォン モータースポーツ・トータスウェブ

モータースポーツ速報 iモード アクア携帯 iモードスマートフォン モータースポーツ・トータスウェブ



タイのラリーロードを快調に乗り切ったジムニー。沿道の応援も力になったと喜ぶ篠塚

◆アジアクロスカントリーラリー最終結果◆

(8月9～14日/レグ1～6)

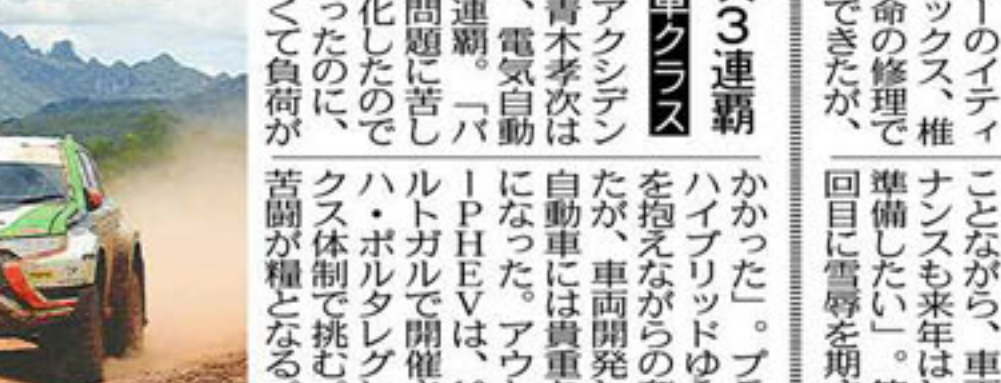
順位	ドライバー	マシン	タイム(差)
1	N・アングリット・ハノン	いすゞD-MAX	13時間56分22秒
2	篠塚建次郎	スズキ・ジムニー	1時間18分31秒
3	R・トラッド	いすゞD-MAX	2時間46分00秒
4	伊藤芳朗	いすゞD-MAX	3時間30分35秒
5	B・ブスター・スタルク	三菱パジェロ	3時間57分54秒
6	橋本 郁夫	トヨタFJクルーザー	4時間47分34秒
7	竹野 悟史	スズキ・ジムニー	9時間37分01秒
8	浅井 道浩	いすゞD-MAX	10時間02分49秒
9	青野 泰久	スズキ・エスクード	10時間24分47秒
10	青野 泰久	いすゞD-MAX	19時間36分42秒
11	西村 孝次	スズキ・ジムニー	25時間48分30秒
12	飯島 孝次	三菱アウトランダー	26時間05分29秒
13	飯島 孝次	いすゞD-MAX	27時間06分27秒
14	新井 敏弘	いすゞD-MAX	46時間39分34秒

※完走27台/出走28台

2輪部門

順位	ライダー	マシン	タイム(差)
1	池町佳生	ガスガス	16時間54分52秒
2	リュ・ミョングル	K T M	5分23秒
3	M・オスターベルグ	ハスカーナ	6分13秒

※完走36台/出走40台



苦闘しながらクラス3連覇を果たした青木孝次のアウトランダー



バイクでは師弟関係の池町と新井

「最後にトリッキーな作戦をとってみたい」といいます。ダカールラリーに2、4輪で出場した経験を生かし「僕は一度もSSトップを取ってませんが、コンスタントに3、4番手を刻み走りに徹したのが良かった」といいます。テランの技が光った。

4輪 初挑戦の篠塚が優勝

66歳円熟の走り

2012年のラリーモンゴリア以来の実戦だった篠塚だが、プランクと66歳という年齢を感じさせない走りを披露した。マシンは1.6Lエンジンを搭載するジムニー。ジャンクルを抜ける狭く、

「タイに来たのは昔から走った時以来。それなのに私のことを覚えていてくれる人も多く、声をかけてくれた。うれしよね。楽しく毎日過ごせた。いやいや本当に楽しかった。1990年に優勝したアジア・パシフィック・ラリー以来のタイだったが、四半世紀前の快挙を覚えている人も多く、6日間を気持ちよく走った。

あつ大木に激突 拓磨総合17位

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

◆WGP第11戦チェコGP 予選結果◆

(8月15日/ブルノ/1周=5.403km/路面D)

順位	ライダー	国籍	チーム/M	タイム
1	J・ロレンソ	ESP	ヤマハ/Y	1:54.989
2	M・マルケス	ESP	ホンダ/H	55.063
3	V・ロッシ	ITA	ヤマハ/Y	55.353
4	A・イアンノーネ	ITA	ドゥカティ/D	55.390
5	B・スミス	GBR	ドゥカティ/D	55.460
6	A・ドビツィオーツ	ITA	ドゥカティ/D	55.935
7	M・ビニャーレス	ESP	スズキ/S	55.954
8	P・エスバルゴ	ESP	ドゥカティ/D	55.955
9	D・ベドロサ	ESP	ホンダ/H	55.969
10	C・クラッチロー	GBR	L C R/H	56.192

【注】M(マシン):D=ドゥカティ、H=ホンダ、S=スズキ、Y=ヤマハ。国籍:ESP=スペイン、GBR=英国、ITA=イタリア。タイヤはブリヂストン

順位	ライダー	国籍	マシン	タイム
1	J・ザルコ	FRA	カレックス	2:01.614
2	T・ラバット	ESP	カレックス	01.873
3	A・リンス	ESP	カレックス	01.901
4	S・コレターゼ	GER	カレックス	01.990
5	T・ルティ	SUI	カレックス	02.078
16	中上 貴晶	JPN	カレックス	02.917

【注】エンジンはホンダ、タイヤはダンロップ。国籍:FRA=フランス、GER=ドイツ、SUI=スイス

ロレンソ「最高のPP」

○…第4戦スペイン以来、7戦ぶりにPPを獲得したロレンソは「ソフト側のタイヤで大きくタイムを削れた。ただ2回目のアタックは最終コーナーの立ち上がりでミス。それでもPPを取れて良かった」と満面の笑み。タイムは13年にカル・クラッチロー(ヤマハ)がマークした1分55秒527のサーキットベストを大きく上回る1分54秒989。「自分のキャリアベストのPP。できは95%だったけど」と、会心のアタックに満足そうだった。

ロッシ3番手「ベスト尽くす」

○…初日フリーはオイルに乗って転倒し6番手だったロッシだが、2日目のフリー走行(3回目)では2番手。予選でも最後に自己ベストを出して3番手に浮上。今季2回目のフロントローを獲得。第8戦オランダGPで3勝目を挙げたあとは勝利がないが、「今回はホルヘとマルクと一緒にフロントローからスタートできる。ベストを尽くす」と今季4勝目狙う。

ハミ1418万円

★2015年F1ドライバー日給ランキング★

順位	ドライバー(チーム)	金額(日本円)
1	L・ハミルトン(メルセデス)	102,778,141,873円
2	F・アロンソ(マクラーレン)	97,222,134,177円
3	S・ペッテル(フェラーリ)	77,778,107,353円
4	K・ライコネン(フェラーリ)	50,000,690,000円
5	N・ロズベルグ(メルセデス)	37,500,517,755円
6	J・バトン(マクラーレン)	27,778,383,753円
7	F・マッサ(ウィリアムズ)	11,111,153,753円
8	S・ペレス(インディアナポリス)	5,556,76,756円
9	N・ヒュルケンベルグ(インディアナポリス)	4,167,57,755円
10	R・グロジャン(ロータス)	2,083,28,757円
11	P・マルドナド(ロータス)	694,9,766円
12	V・ボッタス(ウィリアムズ)	5,556,76,756円
13	D・リカルド(レッドブル)	4,167,57,755円
14	D・クビアート(レッドブル)	2,083,28,757円
15	M・フェルスタッペン(トロロッソ)	694,9,766円
16	C・サインツ(トロロッソ)	556,7,756円
17	F・ノリス(ザウバー)	417,5,788円
18	M・エリクソン(ザウバー)	139,1,759円
19	W・ステイブンス(マノー)	417,5,788円
20	R・メリ(マノー)	139,1,759円

※1ユーロ=138円換算、1000円未満は四捨五入。フォーミュラワンクラブ調べ

ハミルトン(メルセデス)が10万2778円(約1418万3000円)でトップに輝いた。2位はフェルスタッペン(約9万7222円)。アロンソ(マクラーレン)で9万7222円(約1341万7000円)。3位のセバスチャン・ペッテル(フェラーリ)までが1000万円を超えた。

一方、最も薄給だったのはロバート・メリ(マノー)で1万3000円(約1300万円)。同僚のウィル・スティーブンスも417円(約5万8000円)で、日給としては最下位。日給1000円未満は四捨五入。フォーミュラワンクラブ調べ

また、2輪を制した池町は、新井がライバルに乗り、バイクの先生。池町は本場にバイクがうまいから」と、師匠の優勝をたたえた。

池町2度目のV

前戦インディアナポリスGPで一騎打ちを演じたモトGPのマルク・マルケス(22)=ホンダと、ホルヘ・ロレンソ(28)=ヤマハが予選でも激突。ただ一人1分54秒台に突入したロレンソが今季2回目(モトGP通算32回目)のPPを獲得したのに対し、マルケスは2番手に終わった。だが、その差はわずか0.074秒。マルケスは決勝での逆転に手応え十分だ。モト2はヨハン・ザルコ(25)=カレックスが今季5回目(通算6回目)のPP。モト3はニコロ・アントネリ(19)=ホンダが今季初(通算2回目)のPPを獲得した。

フリーで2度転倒…限界把握

ロレンソには届かなかったが、きっちり2番手につけたマルケス



モトGPフロントローの3人。(左から)マルケス、ロレンソ、ロッシ

予選では僅差で敗れたマルケス。「今回はホルヘがとて速くて、フリー走行も予選もわずかに届かなかった。連続周回でも1分56秒台のハイペースで走っている。自分も56秒台で走れるところまでセットアップを進めたい。今回は猛暑が続く、タイヤに厳しい大会になっている。そのため、初日のフリー走行では2回の転倒を喫した。原因はフロントからのスリップダウン(タイヤが滑ってそのまま転ぶこと)。パンビーな路面と高い路面温度で足もとをすくわれた格好だが、マルケスは意に介していない。2回で今季の転倒は9回になった。ロッシとロレンソの1回、ベドロサの3回に比べると格段に多い状態は良かった。自分が速いところもあるし、その明日の決勝はミスをしないで行き切り切りたい」と、厳しい予選を振り切り、決勝に向けての抱負を語った。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

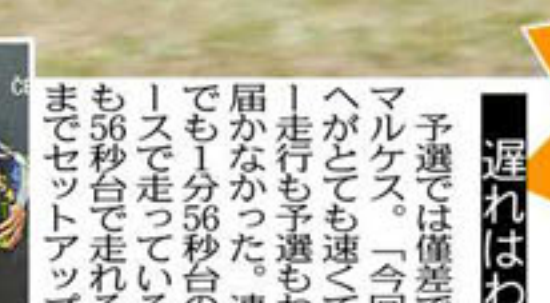
「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

フリーで2度転倒…限界把握

ロレンソには届かなかったが、きっちり2番手につけたマルケス



モトGPフロントローの3人。(左から)マルケス、ロレンソ、ロッシ

予選では僅差で敗れたマルケス。「今回はホルヘがとて速くて、フリー走行も予選もわずかに届かなかった。連続周回でも1分56秒台のハイペースで走っている。自分も56秒台で走れるところまでセットアップを進めたい。今回は猛暑が続く、タイヤに厳しい大会になっている。そのため、初日のフリー走行では2回の転倒を喫した。原因はフロントからのスリップダウン(タイヤが滑ってそのまま転ぶこと)。パンビーな路面と高い路面温度で足もとをすくわれた格好だが、マルケスは意に介していない。2回で今季の転倒は9回になった。ロッシとロレンソの1回、ベドロサの3回に比べると格段に多い状態は良かった。自分が速いところもあるし、その明日の決勝はミスをしないで行き切り切りたい」と、厳しい予選を振り切り、決勝に向けての抱負を語った。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

フリーで2度転倒…限界把握

ロレンソには届かなかったが、きっちり2番手につけたマルケス



モトGPフロントローの3人。(左から)マルケス、ロレンソ、ロッシ

予選では僅差で敗れたマルケス。「今回はホルヘがとて速くて、フリー走行も予選もわずかに届かなかった。連続周回でも1分56秒台のハイペースで走っている。自分も56秒台で走れるところまでセットアップを進めたい。今回は猛暑が続く、タイヤに厳しい大会になっている。そのため、初日のフリー走行では2回の転倒を喫した。原因はフロントからのスリップダウン(タイヤが滑ってそのまま転ぶこと)。パンビーな路面と高い路面温度で足もとをすくわれた格好だが、マルケスは意に介していない。2回で今季の転倒は9回になった。ロッシとロレンソの1回、ベドロサの3回に比べると格段に多い状態は良かった。自分が速いところもあるし、その明日の決勝はミスをしないで行き切り切りたい」と、厳しい予選を振り切り、決勝に向けての抱負を語った。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

フリーで2度転倒…限界把握

ロレンソには届かなかったが、きっちり2番手につけたマルケス



モトGPフロントローの3人。(左から)マルケス、ロレンソ、ロッシ

予選では僅差で敗れたマルケス。「今回はホルヘがとて速くて、フリー走行も予選もわずかに届かなかった。連続周回でも1分56秒台のハイペースで走っている。自分も56秒台で走れるところまでセットアップを進めたい。今回は猛暑が続く、タイヤに厳しい大会になっている。そのため、初日のフリー走行では2回の転倒を喫した。原因はフロントからのスリップダウン(タイヤが滑ってそのまま転ぶこと)。パンビーな路面と高い路面温度で足もとをすくわれた格好だが、マルケスは意に介していない。2回で今季の転倒は9回になった。ロッシとロレンソの1回、ベドロサの3回に比べると格段に多い状態は良かった。自分が速いところもあるし、その明日の決勝はミスをしないで行き切り切りたい」と、厳しい予選を振り切り、決勝に向けての抱負を語った。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。

「昨日今日とポジションがスビドだった。昨日はスビドをキープするのが難しいサイキットなので、バイクをしっかりと上げないと。明日はもっと厳しい戦いになる。ホルヘ(ロッシ)も仕上がってきた。きっと、インディアナポリスGPのように最後まで走れる。自信を深めている。